

## 平成29年度 米穀販売課 新体制のお知らせ

JA佐渡では3月1日付けで人事異動があり、新体制となりました。米穀販売課の体制については、以下のとおりとなりました。新体制もよろしくお願いいたします！！

\*\*\*\*\*  
 課長 渡部 学 係長 中川 政男  
 主任 佃 直樹 担当 駒形 憲昭  
 担当 山田 慎 担当 藤井 優磨  
 担当 伊藤 裕美子 担当 藤巻 花穂  
 \*\*\*\*\*



## ☆新之助の研修会を開催☆

2月21日に、29年産から販売を開始する新品種「新之助」の研修会を行いました。普及センターやJAからは栽培方法について説明があり、参加者は栽培のポイントを確認しました。



29年産の生産者は33名で、22.3haの面積で取り組みます。



精米米袋の図柄

## ☆トキ情報☆

4月14日に、自然界で生息しているトキのペアから、今年に入り初めてヒナが誕生しました。これは野生の環境で6年続けてヒナが誕生したことになりました。5月12日現在、自然界で誕生したヒナは59羽（昨年28羽のヒナが誕生）になり、昨年を大きく上回るヒナが誕生しています。



## ☆29年産の米づくりがスタート!!!☆

### 1. ~温湯消毒~

1月下旬からJA佐渡の温湯消毒施設が稼働し、29年産米作付けの準備が始まりました。JA佐渡では減農薬減化学肥料の取組みを行っているため、農家に供給する全ての種子に「温湯消毒」を実施し、安心・安全な佐渡米づくりに取り組んでいます



### 2. ~春作業の様子(種蒔き~田植え)~

島内では4月の初め頃に種蒔き作業が始まり、連休中に田植え作業をする姿が見られました。29年産米の春作業の様子を紹介します。



## ☆朱鷺と暮らす郷の要件が追加になりました☆

平成29年産「朱鷺と暮らす郷米」の要件が追加になり、畦畔に除草剤を使用することは禁止されました。田んぼの畔際は、朱鷺の夏場における貴重な餌場になります。畔付近に生息する生きものを育むため、生産者は除草剤を使わず、草刈を行うこととなります。



5月6日

編集人：佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 山田

[beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp)

発行日：平成29年5月

Facebook「佐渡のたんぼにっき」で佐渡の情報を発信中！！

<https://www.facebook.com/jasadotanbo> ※QRコードについてはこちら⇒

JA 佐渡 HP やフェイスブック・ツイッター・g+でも佐渡の情報が見られます

